

令和7年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前						小学校就学後																		
																		～小学校卒業			～中学校卒業			～高校卒業				
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18						
宮崎市	児童プール運営事業	夏季期間中、児童の健全な遊び環境を確保し戸外活動(水浴)を支援するとともに、河川等における水難事故を防ぐため、市内11箇所児童プールを運営																										
	宮崎市総合発達支援センター	障がいの早期発見・早期療育及び在宅障がい児(者)の支援を行うため、指定管理者制度を活用し、医療ケアや相談部門を含む総合療育拠点である総合発達支援センターを運営																										
	ブックスタート事業	感心豊かな子どもを育成するため、7～8か月児健康診査の時に、絵本等の入ったブックスタート・バックを保護者にプレゼント																										
	ファミリー・サポート・センター利用料補助事業	安心して子育てができる環境整備を促進するため、ファミリー・サポート・センター依頼会員(利用者)が補助会員に支払う報酬の一部を助成。【補助額】児童手当受給世帯400円/1時間(自己負担額400円) ※R7年4月1日現在																										
	保育料の負担軽減	・国の基準より低い保育料の設定 ・16歳未満の児童が3名以上いる多子世帯は扶養控除を適用し、保育料を算定 ・第2子保育料を第1子の4分の1へ軽減 (R7.9月～、県補助事業活用)																										
	乳幼児等任意予防接種事業	乳幼児等の感染症の蔓延や発症時の重症化を防止するため、個別医療機関において実施する任意のワクチン接種費用の一部を助成																										
	ひとり親家庭等学習支援事業	ひとり親家庭等の子どもの学習意欲や基本的な生活習慣の確立、学習意欲の向上を図るとともに、高校や大学進学などの将来の進路選択を広げるため、学習支援員による学習支援や進学相談を実施(市内5か所)																										
	不妊検査費助成事業	不妊原因を調べるための検査費用を夫婦一組に対し助成。(上限3万円、1回限り) ・夫婦(事実婚含む)の両方またはいずれかが本市に住民登録がある。 ・検査開始日の妻の年齢が43歳未満。																										
都城市	妊活サポート事業	妊活や不妊に関する不安や悩みに対して、LINEを活用した個別相談を実施																										
	都城市こども発達センターきらきら	・未就学児を対象に発達障がい、又はその疑いのある子どもの相談や小児科医による診察を実施 ・小学1年生から18歳未満の児童を対象に発達障がい又はその疑いのある児童の相談を心理士や保健師等が実施																										
	子どもの生活・学習支援事業	小中学生を対象に地域のボランティアが、学習支援を通して、子どもの居場所や学習機会の確保を実施																										
	不妊治療医療費等助成事業	一般不妊治療・不妊検査を受けた夫婦に対して治療費・検査費を助成。(R7年3月31日以前に受けた治療・検査：上限3万円まで、R7年4月1日以降に受けた治療・検査：自己負担の合計額。) 生殖補助医療・不育症治療を受けた夫婦に対して治療費を助成。(R7年4月1日以降に開始した治療で、宮崎県不妊治療費支援事業又は宮崎県不育症治療費助成事業の助成を受けた方が対象。自己負担額から県の助成額を差し引いた額を助成。)																										
	妊産婦に係る健診費用の完全無料化	妊産婦が受診する健康診査費用(妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、子宮頸がん検査、産婦健康診査)の完全無料化 ※図が示す健診回数・メニューが対象																										
	0～2歳児までの保育料の完全無料化	・保育園や認定こども園などに通う0～2歳児の保育料を完全無料化 ・認可外保育園施設、企業主導型保育園施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業の利用者の利用料月額42,000円を上限に無料																										
	ファミリー・サポート・センター利用料補助事業	安心して子育てができる環境整備を促進するため、ファミリー・サポート・センター利用会員(利用者)が補助会員に支払う報酬の一部を助成。【補助額】300円/1時間(R6.9月から公民館加入者は無料)																										
	預かり保育料の無料	幼稚園(1号認定)の2歳児クラスで3歳になった最初の3月31日までの子どもで保育の必要性の認定を受けた子どもの預かり保育料月額11,300円を上限に無料																										
延岡市	副食費の無料	幼稚園、認定こども園に通う2歳児の1号認定子どもの副食費月額4,900円を上限に無料																										
	保育所利用者負担金(保育料)の負担軽減	・国基準より、全ての世帯で保育料の負担を軽減 ・保育料割引(多子軽減)のきょうだいカウント年齢を小学校就学前から中学校就学前まで延長して、子育て世代の負担を軽減																										
	ファミリー・サポート・センター利用料補助事業	ファミリー・サポート・センター利用時、依頼会員が補助会員に支払う報酬(利用料金)の一部を助成。【補助額】 通常時：児童1人1時間あたり500円 年末年始期間：児童1人1時間あたり800円																										
	移住・子育て住まい支援事業	18歳以下の子ども(幼児を含む。)のいる子育て世帯や移住世帯に対する住宅取得費の支援額について、子ども1人当たり10万円を加算(上限あり)																										
	移住子育て家賃補助制度	18歳以下の子どもがいる、市外から転入し、民間賃貸住宅に入居している子育て世帯の家賃の一部を補助																										
	NPO法人学校支援はげまし隊	市内小中学校の算数・数学、英語の授業を中心に、全教科に対応。授業内容の理解をサポートする支援、水泳や持久走時のみまもり支援、調理・裁縫実習のアシスト支援、一緒に学びながら子どもをほめてはげます支援、自分の経験(キャリア)を子どもに伝える支援等がある。																										
	延岡こども未来創造機構	学校、家庭、地域と連携し、多様な学びの機会を創出している。STEAM教育や高校生向け調理コミュニケーション、自然体験、イングリッシュキャンプ、グローバルコミュニケーション、夢の教室など、こどもたちの創造性や探求心、生きる力を育む体験プログラムを実施している。																										
	ブックスタート「はじめての絵本ふれあい」事業	7か月健康相談時に、図書館職員による絵本の読み聞かせや読書案内・本の紹介を行い、ファーストブックとして絵本を1冊プレゼントする。																										

令和7年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
離島・過疎地域等高校生修学支援事業	離島・過疎地域等高校生修学支援事業	離島や過疎地域などの自宅から市内の高校に通学する生徒の保護者に対して、①寮や下宿を利用する際の費用または②公共交通機関を利用して通学する際の費用を対象に、その一部を補助する。 ※①については、離島に限り、市外の高校で市内の高校に設置されていない学科に通学する生徒の保護者も対象 ※②については、市外の高校に通学する際の費用の一部も対象					
一般廃棄物処理手数料減免制度	一般廃棄物処理手数料減免制度	1歳未満の児童の保護者に対して、指定ごみ袋中（20L）を60枚配布する。 ※生後6月以上で延岡市に転入した場合は30枚					
公益財団法人延岡市育英会奨学金	公益財団法人延岡市育英会奨学金	保護者が2年以上延岡市に在住しており、学業人物ともに優秀であって、経済的理由により学費等の支払いが困難である生徒・学生に対し、無利子で奨学金を貸与 【貸付額】高校生：月額15,000円 大学生：月額20,000円 ※公益財団法人延岡市育英会奨学生選考委員会審査し、奨学生を決定					
日南市	ファミリー・サポート・センター利用料補助事業	安心して子育てができる環境整備を促進するため、ファミリー・サポート・センター利用料（利用費）が援助会費に支払う報酬の一部を助成（補助額）400円/1時間（自己負担額200円）					
	不妊検査費助成事業	不妊の原因を早期に見出し、適切な治療につなげるため、不妊検査に係る費用の一部を助成（上限3万円）					
	不育症治療費助成事業	不育症の治療を受けられたご夫婦に対して、治療費の一部を助成 不育症不育症治療費助成金の給付決定を受けられた方が対象 【助成金額】一胎の夫婦に対して、1回の妊娠期間の治療につき4万円以内					
	4歳児クラスフォローアップ訪問	保育園施設の4歳児（年中クラス）を対象に発達障がい等をめめた障がいの早期発見、早期支援を目的とした巡回支援を実施					
	みらい応援・祝金（ひなちゃん祝金）	子育て世代の経済的負担の軽減を図るとともに、こどもの誕生を市全体で祝福することを目的に、出産された方に出生届提出に際した祝金を給付。 第1子：5万円、第2子：10万円、第3子以降：15万円					
	めざせ小村寿太郎国際塾事業	国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材の育成と読書力向上のため、小学5、6年生の希望者を対象に週1回（6月～3月）無料の英会話学習を実施					
	遠距離通学補助	通学距離が小学生で片道4km以上、中学生で6km以上の児童生徒を対象に通学費補助金要綱に基づき通学費を支給					
	学校給食費負担軽減補助	小中学生の保護者を対象に給食費を補助					
	相談窓口	子育てなどの悩みについて、一元的に相談を受け付ける窓口を開設。従来の窓口・メールの相談に加え、LINEを活用した相談も可能（相談：無料）					
小林市	小林市奨学金制度	一定の要件を満たす生徒に対し、無利子で奨学金を貸与 県立高等学校 月額10,000円 私立高等学校 月額12,000円 高等専門学校・専修学校 月額15,000円 大学（短大含む） 月額20,000円 ※小林市奨学生選考委員会審査し、教育委員会が決定					
	学校給食費負担軽減補助	小学校・中学校の児童に対して給食費の半額を補助					
	不妊検査費助成事業	不妊の原因を早期に見出し、適切な治療につなげるため、不妊検査に係る費用の一部を助成					
	出産支援金	妊婦から出産に係る経済的負担の軽減等を目的に妊娠中に、妊娠1回につき32,000円を支給する。					
	市内高等学校通学費補助	市内の高校へバスを利用して通学する生徒に対し、定期券購入費用の一部を助成する。					
	小林市出産サポート119	緊急の出産時に、妊婦を救急車で産院等に緊急搬送するもの。					
	おめでとう赤ちゃん祝品	出生した赤ちゃんとその保護者を社会全体で応援するため、応援メッセージ・おむつ等子育て用品と木工玩具を贈呈する。					
	小林市子育て情報アプリ「こすもす」	小林市の子育てに必要な情報を提供する公式アプリ。 ○各種健診・妊婦期を含む、予防接種の時期に加え、市の地域情報等を確認できる。					
日向市	2歳児保育料の無償化（R7.9月～）	・認可保育所や認定こども園などに通う2歳児の保育料を全額無料とする。 ・認可外保育園、企業主導型保育園の利用者の利用料を月額42,000円を上限に無料とする。					
	赤ちゃん相談・すくすく相談	育児・栄養・離乳食相談や計測などの育児チェック、保護者の交流や情報交換を実施 ・赤ちゃん相談～生後6か月までの赤ちゃんに保護者 ・すくすく相談～生後7か月～1歳未満の赤ちゃんに保護者					
	不妊検査費助成事業	不妊の原因を早期に見出し、適切な治療につなげるため、不妊検査に係る費用の一部を助成					
	妊産婦に係る健診費用の完全無料化	妊産婦が受診する健康診査費用（妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、子宮頸がん検診、産前産後検診）の完全無料化 ※国が示す健診回数・メニューが対象					
	2歳6か月児歯科健康診査	生涯予防や歯の健康、発達のために子どもに対する早期発見、早期療育を目的として、法定健診の間の時期に2歳6か月児歯科健康診査を実施					
	ドレミ教室・ソラシド教室	乳幼児健康診査の事後教室として、親子での遊びをとおして子どもの成長を見守り、発達や子育てなど保護者の悩みなどを一緒に考えていく教室 ・ドレミ教室～1歳6か月児健康診査事後教室 ・ソラシド教室～2歳6か月児健康診査事後教室					
	3歳児健康診査心理・発達相談	発達や行動面について、臨床心理士による保護者の相談が必要な支援を行う。					
	ブックスタート事業	7か月児健康診査時に、図書館職員による絵本の読み聞かせや読書案内、本の紹介を行い、ファーストブックとして絵本を1冊プレゼントする。また、1歳半児健康診査時、3歳児健康診査時にも絵本を1冊プレゼントする。					
	家族・親子支援プログラム	①こモンセンス・ペアレンティング・プログラム 子どもとの関係に不安や悩みを抱える保護者に対し、子どもとのコミュニケーションの取り方や子どものしつけの方法を、わかりやすく学ぶ講座（託児可） 【対象】おおむね小学生以下の子どもが保護者 ※料金無料 【時期】年に2回（時期未定） 幼児版全7回・学童版全6回連続講座（その他フォローアップ講座あり） ②ほしつメソッド 子どもを励ます・しめる・つたえる際の関わり方を学ぶ、講師との1対1の1時間のオンライン講座（託児可） 【対象】おおむね小学生以下の子どもが保護者 ※料金無料 【時期】不定期開催 1回1時間					
	日向市公式アプリ	日向市公式アプリ内に子育て支援機能を搭載 ○各種健診（妊婦期を含む）や予防接種の時期の確認、直前に市からの通知受領 ○子どもの成長記録の登録 ○産後ケア事業や育児相談教室の紹介や、子ども医療費助成やひとり親家庭医療費助成などの助成制度や児童手当・児童扶養手当の案内の閲覧					
	日向市育英奨学金	人物・学業ともに優秀かつ健康でありながら、経済的理由により修学が困難であると認められる生徒・学生に対し、奨学金を貸与 【貸付額】高校生：月額20,000円以内 大学生・短大生・専門学校生：月額30,000円以内 ※無利息					
	日向市提携教育ローン	九州労働金庫と提携して、市内に居住し、高等教育に係る教育資金を必要とする方に低金利で融資【融資額】子ども一人につき300万円以内（10万円単位）※収入など融資要件あり					
0～3歳未満児への保育料完全無償化	0～3歳未満児への保育料完全無償化	国の制度で有料とされている0～3歳未満の保育料について保護者負担分を無償化とする。					

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
串間市	不妊治療費助成	不妊症・不育症の治療を行っている夫婦に対し、治療費の一部助成 【不妊治療】 治療に係る自己負担額 医療保険適用治療 100,000円まで/年度 ※特定治療については、自己負担額から宮崎県又は宮崎市の治療費助成額を差し引いた額 不妊原因を調べるための検査費 30,000円まで/年度 【不育症治療】 1回の妊娠期間で40,000円まで 不育症治療については、自己負担額から宮崎県又は宮崎市の治療費助成額を差し引いた額					
	妊産婦健診通院支援事業	妊産婦一般健康診査のための通院費用を助成（300円～2,000円/回） ○対象者：健康診査を受診した日において、串間市内に住民登録のある方 ○受診場所：串間市民病院、串間市外の医療機関 補助の上限回数は1度の出産につき、単胎妊娠の場合は産前1・4回、産後2回（多胎妊娠は5回追加） ※市外に里帰りされる場合は通院費用は補助対象外					
	発達に係る支援（言葉の相談・発達相談・音楽療法）	発達を促す支援として、言語聴覚士による言葉の相談、小児科医や心理士等が対応する発達相談、音楽療法士による音楽療法を実施。					
	福島高等学校支援事業	①入学支援金（70,000円/人）の支給 ②進学委員会にて選考された生徒に対し給付型奨学金（月額20,000円/人）を支給 ③検定料受験料補助 ④九州大会又は全国大会に出場する部活動に対する補助 ⑤遠距離通学補助					
	学校給食費物価高騰対策事業	①食料費高騰による給食費の増加分を補助し、保護者の経済的負担を軽減する。 ②事業補助金 ■小学生 9,830,600円…A 一食あたり301円 保護者負担額236円 差額65円 補助額65円×児童数760人×喫食数199食 ■中学生 6,478,440円…B 一食あたり346円 保護者負担額272円 差額74円 補助額74円×児童数440人×喫食数199食 ■合計 16,310,040円…A+B ④交付対象者：串間市学校給食会 効果を受ける対象者：保護者					
西都市	遠距離通学補助	通学距離が片道4km以上で距離に応じて補助 公共交通機関を利用する場合は交通費の半額補助					
	助産師ケア事業	宮崎県助産師会に所属する助産所・院で助産師ケアを受けることができる。 1回に3,000円まで自己負担なし 【対象】妊婦・出産後2年以内の方 【内容】 ・妊娠、出産及び育児に関する相談（面接） ・骨盤及び乳房ケア ・沐浴指導 ・ベビーマッサージ ・プレバママクラス					
	不妊治療費助成	一般不妊治療費等助成金交付事業 【不妊検査】上限3万円（1組の夫婦につき1回） 【一般不妊治療】上限10万円（1年度あたり1回） 生殖補助医療費等助成金交付事業 【生殖補助医療】上限10万円 【先進医療】上限10万円 ※無が行う不妊治療費支援事業に上乗せして助成するもの。					
	妊婦健康診査完全無料化	妊婦健康診査（14回分）					
	多胎妊婦健康診査	妊婦1人に対し5回以内					
	ハッピースタート事業	妊婦への結本配布					
	フッ化物洗口事業	【対象】 保育所等に通う4、5歳児 【内容】 フッ化物洗口（週5日法）					
	幼児歯科健診	【対象】 2歳から3歳2か月の幼児 【内容】 指定歯科医院にて実施する歯科健診・フッ化物塗布（希望者）の無料券配付（4回）					
	フッ化物塗布（幼児健診）	1歳6か月・3歳児健診で希望する者にフッ化物を塗布。					
	5歳児相談	【対象】 5歳児 【内容】 公認心理師・言語聴覚士による発達相談					
	育ちのひろば（発達相談）	【対象】 1歳6か月～6歳未満 【内容】 公認心理師・言語聴覚士による発達相談					
	任意予防接種助成事業	流行性耳下腺炎予防接種（2,500円/回） 三種混合予防接種（上限4,500円/回） 季節性インフルエンザ（1,250円/回）					
	子育てネットワークさいと	こどものころからだの健やかな成長を支えるため、保健・教育・福祉分野が連携し、乳児期から学童期までの途切れのない支援を行う 【内容】 ネットワーク会議・保育所等巡回訪問・子育て支援マップ作成					
	ブックスタート事業	出生手続き時に結本とブックガイドの進呈					
	ブックフォロー事業	1歳6か月児健診時にブックガイド、3歳児健診時に結本とブックガイドの進呈					
	ブックサポート事業	新小学1年生にブックバック、読書スタンブラリー冊子の進呈					
	ブックスマイル事業	0～3歳児までの年齢に合わせた図書館選書本3冊セットの貸出					
	第2子以降の保育料無償化	市内に住所があり、次に掲げる事項をすべて満たす児童について保育料を無償化 ・生計を一にしている年長者から数えて2番目以降の児童 ・保育所（園）・認定こども園に通う0～2歳児クラスの児童					
	高等学校等に在学し選考委員会で決定した者への奨学金	高等学校等10,000円/月・高等専門学校・専修学校15,000円/月 大学校等20,000～30,000円/月（入学一時金240,000円以内） 奨学金返済時に市内に居住し、一定の要件を満たす場合に、返済額の2分の1を上限として補助金を交付					
	総合学力調査料補助	年1・2回1教科あたり410円全額補助（小1～6年2教科、中1年4教科、中2年5教科）					

令和7年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
	実用英語検定料補助	年1回中学1年生は5級、中学2年生は4級以上、中学3年生は3級以上の検定料を全額補助					
	遠距離通学補助	通学距離が小学生で片道4km以上、中学生で6km以上の児童生徒を対象に遠距離通学生に対する通学費補助金交付要綱に基づき通学費を補助					
	子育て世代移住促進住宅取得助成金交付事業	子育て世代（40歳未満または中学生以下の子どもを養育し同居している方）の転入者が、市内に住宅を新築あるいは購入する場合、最大200万円の助成金を支給					
えびの市	飯野高等学校支援事業	県立高校である飯野高等学校に進学する生徒に対する支援 【支援内容】 ①成績優秀者に最長3年間給付型奨学金として月20,000円を給付 ②通学距離が西諸管内の指定校区及び市外からの通学者に、3年間通学支援として月5,000円を支給 ③学力向上支援のため、希望者を対象に、放課後、外部講師による公営塾を開設 ④英語検定・漢字検定等の補助 ⑤海外留学や海外研修に係る研修費を補助					
	飯野高等学校生徒下宿等費用助成金	県立高等学校である飯野高校に在学する生徒が西諸管内の下宿等に居住する場合、下宿代等の一部を助成 【助成金額】 下宿の場合：下宿代の1/2以内（上限月額40,000円） 民間賃貸住宅の場合：家賃の1/2以内の額に、食費及び光熱費に対する支援として月額20,000円を加算した額（上限 月額40,000円）					
	日章学園九州国際高等学校生徒寮費助成事業	市内にある私立高等学校である日章学園九州国際高校に在学する生徒が校内の寮に入寮する場合、寮費の一部を助成 【助成金額】 寮費の1/2以内（上限 月額25,000円）					
	えびの市奨学金貸与制度	一定の要件を満たす生徒に対し、県立で奨学金を貸与 高等学校 月額20,000円または10,000円 高等専門学校 月額24,000円または12,000円 大学等（短大含む） 月額40,000円または20,000円 入学一時金 500,000円以内 ※奨学生選考委員会審査し、教育委員会が決定					
	学校給食費無償化事業	○小中学生の給食費無償化					
	第3子以降保育料無料化事業	第3子以降の園児の保育料を無料とする。					
	第3子以降副食費無料化事業	第3子以降の園児の副食費を無料とする。					
	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	ファミリー・サポート・センター利用時の利用料を助成 【助成金額】 1人1時間あたり300円					
	不妊治療費助成	不妊治療を行っている夫婦に対し、保険適用となる一般不妊治療または生殖補助医療に係る自己負担額の一部助成（補助率1/2） 一般不妊治療 上限100,000円/1子につき 生殖補助医療 上限200,000円/1子につき					
	えびの市出産サポート119事業	消防署への情報提供により、妊娠中の緊急時に医療機関へ迅速に搬送を行う。					
	妊産婦支援助成金	妊産婦に対し助成金を交付。 【助成金額】 妊娠1回につき50,000円					
三股町	パパママ教室	妊娠7～9か月の妊婦とその夫を対象とした教室。					
	出産祝い品事業	町内に住む生後3か月頃の児に対し、母子保健推進員が訪問にて出生祝い品をプレゼント					
	ブックスタート事業	生後3～5か月の子どもを対象とした育児教室（すくすく教室）にて、絵本の読み聞かせおよびプレゼントを行う。					
	もぐもぐ教室	生後3～5か月の子どもを対象とした離乳食教室					
	赤ちゃん健診	誕生月の翌月頃に、2～3か月、6～7か月、1歳の健診を健康管理センターにて実施。 【内容】身長・体重測定、助産師・保健師による問診、小児科医による診察、（希望者）おっぱい、栄養相談					
	2歳6か月児歯科健診	歯の診察に加え、子どもの発達や、こたばの発達確認を目的として実施 【内容】身長・体重測定、助産師・保健師による問診、歯科医師による診察、歯科衛生士によるブラッシング指導、（希望者）栄養、こたば相談					
	ほのぼの教室	親子あそびの教室。子どもと一緒にできる様々な遊びを行いながら、保育士・心理士・保健師が様々な相談に対応					
	心理相談	心理相談員が、子どもの発達についての不安や、関わり方などの相談に対応※要予約					
	こたば相談	言語聴覚士が、子どものこたば・発音・コミュニケーションの力を検査し、様々な相談に対応※要予約					
	保育料負担軽減事業	町内に住む園児において、制度上第1子の保育料を無償化					
	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	ファミリー・サポート・センターを利用する保護者の負担を軽減するために、町から利用料金の助成あり 助成額＝1人1時間あたり300円 ※1人目の子どものみが対象					
	学校給食費負担軽減補助事業	二股中学校に在籍する生徒の学校給食費を無償化					
高原町	出産応援事業	妊産婦に対し助成金を交付。 【助成金額】 妊娠1回につき32,000円					
	乳幼児もぐもぐ大好き教室	乳幼児とその保護者を対象とした離乳食教室					
	フッ化物塗布事業	2歳から就学前の子を対象に年1回分の無料塗布を配布					
	フッ化物洗口事業	・町内保育所に通う4歳以上の園児の希望者に毎日フッ化物洗口を行う ・小・中学生の希望者を対象に週1回のフッ化物洗口を行う。					
	ブックスタート事業	生後5か月～1歳6か月健診時に、絵本を1人1冊進呈					
	出産サポート119	希望する妊婦に対して消防署に情報を登録し、妊娠中の緊急時に速やかに医療機関に搬送する。					
	チャイルドシート貸出	希望者に対して、2か月間無償でチャイルドシートの貸出しを行う。					
	乳幼児任意予防接種	重症化の予防、感染症のまん延防止のため任意予防接種の費用を助成する。					
	4.5歳児発達調査・相談	年中児を対象に発達支援専門員による調査と相談を行い、就学支援へつなげる。					
	保育料等負担軽減事業	・第1号、第2号認定の児童の副食費助成 ・認可保育所等における保育料の負担軽減に加え、第2子は半額、第3子以降は全額無料 ・認可外保育施設の保育料や保育料とは別途徴収となっている給食費の補助。（第2子半額、第3子以降無償）					
	小中学校給食費等補助事業	学校給食費等の半額補助					
国富町	ウッズスタート事業	出産のお祝いとして木製品を贈呈。					
	健やか子育てエール便	生後6か月から1歳6か月になる間で3回、おむつや離乳食など希望する育児グッズを自宅に届ける。					
	保育料負担軽減	保育料の負担軽減として、国の基準よりも低くするように保育料を設定。 ひとり親世帯等の第1子は、保育料が1/4。 2人以上の児童が入所している場合、2人目以降は保育料が無料。					
	在宅育児支援手当事業	未就学児が2人以上世帯に属し、その中の第2子以降の子どもを、生後7か月から満3歳になるまで在宅で養育している保護者に対して、子育てに要する費用を支渡し、子どもの健全な育成を図ることを目的に、月5千円を給付。					
	定住促進住宅家賃の減免	定住促進住宅に住む18歳未満の子を持つ世帯の家賃を減免。					
	すこやか学童保育事業	保護者が仕事等で帰宅、家にはいない家庭の「小学校1年生～3年生」までの児童を、学校の長期休業中に、町内の保育所等を利用して、健全育成を図る。					

令和7年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
	学校給食費保護者負担軽減対策事業	学校給食の廃棄と物置高騰に伴う保護者負担の軽減を行う。					
綾町	出産祝金	第3子誕生で、100,000円、第4子誕生で300,000円を交付					
	新築住宅等取得支援事業補助	夫婦いずれかが18歳以上45歳未満の者または中学生以下の子を養育している者 要件①：新築又は新築住宅の購入 （1）町内事業者による建築 25万円に中学生以下1人につき5万円 加算×3年間（上限120万円） （2）町外事業者による建築 20万円に中学生以下1人につき5万円加算×3年間（上限105万円） 要件②：中古住宅の購入 15万円に中学生以下1人につき5万円加算×3年間（上限90万円）					
	住宅料支援事業補助	夫婦いずれかが18歳以上40歳未満の者または中学生以下の子を養育している者 要件：住宅料月額から3万円を差し引きした額の80%（上限1万円/月）×3年間					
	高校生等子育て世帯支援給付金	保護者の負担軽減・若者定住促進のため、町内のすべての高校生の保護者に通学費用の一部を給付					
新富町	保育料無償化	町内に住む3歳未満の園児について、保育料を全額助成					
	学校給食費の無料化	町内の小中学生の給食費全額免除					
	国民健康保険税の中学生までの均等割無償化	子育て世帯の負担軽減を図るため、国民健康保険税の中学生までの子どもの均等割無料					
	妊産婦・乳児健康診査の無償化	妊婦・出産にかかる妊婦健康診査及び乳児健康診査に係る費用を助成					
	町内幼稚園2歳児クラス保育料の無料	幼稚園の2歳児クラスの子どもで保育の必要性の認定を受けた子どもの保育料月額29,000円を上限に無料					
	新富町子育て応援アプリ「すくすくまある」	新富町の子育て支援に関する情報提供や離乳・予防接種の管理機能等便利なアプリ					
	ブックスタート事業	感性豊かな子どもを育成するため、乳児健康診査の時に、絵本をプレゼント					
	学用品リユース事業	卒業や成長によって使われなくなった制服や、使わなくなった学用品等を、必要とする方へ譲渡する事業					
	スクールバスの運行（遠距離通学支援）	遠距離通学の小学生に対し、スクールバスを運行する					
	放課後児童クラブ利用者負担軽減（要保護児童等）	対象児童1名につき月額2,000円の利用料の助成をしています。					
	ひとり親医療費無償化	ひとり親の医療費自己負担額の無償化					
	相談窓口（パブリカ）	子育てなどの悩みについて、一元的に相談を受け付ける窓口を開設。子育て支援に精通した専門職が、電話・窓口・訪問での相談に対応する。					
	しんとみ学び塾の開催	児童生徒のキャリアアップ教育推進のため年2回開催。					
	各種大会出場補助金	町内中学校の部活動等が全国・中体連等に出場する際に旅費の一部助成を行う。					
	奨学金資金貸付	経済的理由により就学困難なものに対し、無利子で奨学金を貸与 高等学校 月額20,000円または10,000円 大学（短大等） 月額40,000円、30,000円、20,000円または10,000円 ※奨学生選考委員会が審査し、教育委員会が決定					
	新生児聴覚検査	聴覚障がいや早期発見のために、聴覚検査を実施しています。 聴覚検査費用を助成します。					
	産後ケア	母や児が、助産師等の専門的な支援を受けることにより、心身ともに安心して子育てが出来るようサポートを行います。					
	巡回訪問（保育園・幼稚園）	保育園幼稚園を専門職が巡回し、発達障害児の早期発見を行います。					
	新富町不妊治療費助成事業	安心して子どもを生育できることができる環境づくりを行うために、不妊治療を受けた夫婦に対して治療費の助成を行います。					
高鍋町	任意予防接種助成事業	重症化の予防、感染症のまん延防止のため任意予防接種について助成 おたく（1歳・2歳）3種混合（年長児）インフルエンザ（6か月～高校生）					
	もぐもぐ教室	1歳までの子どもを対象とした離乳食教室					
	ことばの教室	就学前の幼児を対象に、ことばや発音などについて言語聴覚士が個別に対応します。（要予約）					
	のびのびランド	母や児に対して、児のかかわり方や発達等の相談・支援を保育士等の専門職が行います。（要予約）					
	2歳児健康相談	2歳5か月前後を対象者として、歯科検診とフッ素塗布、子どもの発達やことばの理解、育児、栄養相談を目的として実施 【内容】身長・体重測定、保健師等による問診、歯科検診、フッ素塗布（希望者）育児・栄養相談					
	子育て相談	子育て支援センターで、月に数回保健師が出張して相談を実施。					
	遊びの教室	1歳を過ぎた幼児を対象に音楽遊び、感覚遊びを月に1回実施					
	ことばの教室	就学前の子どもを対象に言語聴覚士がことばや発音などについて個別に対応					
	個別相談	心療相談員が、子どもの発達についての不安や関わり方などの相談、発達検査を実施					
	幼児のフッ素塗布受診券の配布	1歳半健診、2歳児健康相談、3歳児健診受診後、3か月経過後に使用可能な歯科受診券を配布。受診券を利用し、町内の歯科医院で歯科検診、フッ素塗布、歯磨き指導を実施。					
	子どもの任意予防接種事業	重症化の予防、感染症のまん延防止のため個別医療機関において実施する任意の予防接種について一部助成					
	学校給食費の無償化	町内公立中学校の給食費を全額無償化					
	第2子以降の保育料無償化	保育所等に入所している小学校就学前の子どもが同一世帯に2人以上いる場合、2人目以降の保育料が無料					
	ファミリー・サポート・センター利用料助成事業	ファミリー・サポート・センター利用料の一部を助成 【助成金額】1人1時間あたり300円					
高鍋町	フッ素洗口事業	町内の保育園に通う年中、年長児の希望者に這3回のフッ素洗口を実施。					
	不妊治療費助成	一般不妊治療（人工授精）の治療にかかる費用（上限5万円：夫婦1組に対し1年につき）を助成					
	遠距離通学費補助	小学生（居住地区に居住して補助） 中学生（居住地区に居住して20,000円を上回る自転車購入費を補助）					
	障がい児保育委託事業	心身に障がいや有する児童を保育する保育所・認定こども園に対し必要となる費用の一部を助成することにより受け入れ態勢を整備					
	乳幼児絵本読み聞かせ事業	絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーションや愛着形成を図るため、1歳児から3歳児までを対象にしたパーソナル絵本をプレゼント					
高鍋町	無料の学習支援事業（社協塾）	小学5年生から中学2年生を対象に、共通きやひとり親世帯等に対し、毎週土曜の午前中に地域のボランティアが学習支援を行う 小学生は国語、算数 中学生は英語、数学					
	保育料控除	利用者負担額及び給食費は、利用子ども及び保護者が村内に住所を有し、かつ、村内に居住する場合には、全額を控除					
	高等学校就学支援	村内に住所を有し、高等学校等に通う生徒一人につき、月額3万円を支給する。自宅から通学している生徒においては、月額3万円を上限とする交通費を支給					
高鍋町	遠距離通学費補助	通学距離が4kmを超える通学者に対する補助。バス通学の場合は全額補助、保護者による自動車送迎についても距離に応じて補助					

市町村	支援の項目 給食費の助成	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
西米良村		村内の学校に在学する児童・生徒(小中学校)は、全額補助。					
	奨学資金（菊池奨学資金）	村の奨学金制度で、高校等に進学する者に、5年間を限度に年額36万円を無利子で貸し付け 卒業後の就職により居住する場合は返済が免除					
	副教材購入補助	村内小学校、中学校の全児童生徒を対象に、保護者負担のあった副教材費について、 小学校児童1人あたり8,000円、中学校生徒1人あたり22,000円を上限に村にて負担					
	修学旅行費用助成	・小学校：上限65,000円/人(東京方面) ・中学校：上限115,000円/人(若手用)					
	不妊治療費助成	不妊検査及び不妊治療に係る費用について助成する					
	出産祝い金	定住が見込まれる者に対して出産祝い金を交付する。第1子 5万円、第2子 15万円、第3子 30万円、第4子以降は第3子の額に10万円ずつ加算					
	妊産婦健康診査通院支援	妊産婦健康診査を受ける際の通院に要する費用の一部を助成する。 1,500円×交付した助成券を使用して健康診査を受けた回数/人					
	安心出産助成	村が発行する妊婦健診の助成券以外の検査や妊婦に起因する保険診療について助成					
	子育て支援金	・未就学児、保護者ともに西米良村の住民基本台帳に記載され、かつ、居住している未就学児を養育している保護者に対して、1世帯あたり8,000円×月分の給付券を交付。村内の総合商等で生活必需品の購入時に2割を限度に使用可能					
	医療福祉職育成奨学資金	医療、福祉の資格取得を目指す者で、高校、大学などに通う者のうち、卒業後に村内での就労を目指す者に対して、村出身者年間72万円、最长6年間利用可、卒業後3年間就労で返済免除					
	中学生学力向上支援事業	中学生を対象に、週1回（中学3年生は週2回）、村営塾を実施。講師は宮崎大学に依頼。夏休み期間中は別途、学力向上セミナーを実施					
	自宅学習用タブレット端末整備	村所小学校、西米良中学校の全児童生徒を対象にタブレット端末1人2台を貸与					
木城町	定住促進住宅	移住者、移住子育て世帯を対象とし、子育て世帯支援として、中学生以下の子ども一人につき5,000円を家賃額から減額					
	宮崎交通バス利用 友の会補助金交付事業	村所線を利用する際に村所駅で乗車を購入した場合、高校生の降車の場合は全額補助					
	出産・子育て応援給付金	国の「出産・子育て応援給付金」に10万円上乗せして給付 妊娠時：15万円 出産後：15万円					
	ふるさと回帰きょう暮らし 定住促進奨励金 （住宅取得奨励金・子育て加算）	住宅取得奨励金の交付について、15歳未満の子供一人当たり10万円の子育て加算					
	ふるさと回帰きょう暮らし 定住促進奨励金 （小学校就学準備金・中学校進学準備金・ 高等学校等進学祝金・大学等進学祝金）	小学校就学準備金：2万円 中学校進学準備金：3万円 高等学校等進学祝金：5万円 大学等進学祝金：10万円					
	保育料無償化	利用子ども及び保護者が町内に住所を有し、かつ、町内に居住する場合には保育料を全額助成					
	保育園等副食費の助成	町在住の3歳以上保育園児の副食費について町が助成					
	義務教育学校修学旅行補助金	・前期課程：上限60,000円/人（沖縄方面） ・後期課程：上限40,000円/人（東京方面）					
	学校給食費の無償化	義務教育学校の給食費の全額を助成（保護者負担なし）					
	奨学金貸付	経済的理由により就学困難なものに対し貸与する。 高校生：10,000円、専門学校・大学生：30,000円					
	学力向上サポーター	学級担任及び教科担任と連携を図りながら児童生徒の学習指導を行う。					
	特別支援サポーター	特別支援学級担任と連携を図りながら学校内外で個に応じた学習指導及び生活指導を行う。					
川南町	学用品購入補助金	学生服及び通学用靴の購入費の1/4を助成する。					
	副教材費一部補助	前期課程4,000円、後期課程6,500円を補助する。					
	英検3級受験料補助	英検検定3級受験者に受験料を年1回全額補助する。					
	英語講座開催	みどりの杜木城学園の児童・生徒に対し、英単語講座、英検3級受験対策講座、6年生対象の英語講座を開催。					
	住宅借上料補助金	みどりの杜木城学園への転入を伴う世帯に、月額賃料の3か月分を助成する。					
	不妊治療費助成	不妊治療をしている婚姻又は事実婚の夫婦に対し治療費の一部助成。 一般不妊治療：治療に要した費用（自己負担額）の上限10万円（1子ごと） 生殖補助医療：治療に要した費用（自己負担額）の上限20万円（1子ごと）					
	乳幼児任意予防接種事業	日本小児科学会推奨の任意予防接種でワクチンで予防できるものの中から、乳幼児の任意予防接種費用の一部を助成					
	妊産婦及び1か月健診助成	受診券を交付（妊婦健診18回分、産婦健診2回分、1か月健診1回分）					
	乳幼児絵本読み聞かせ事業	絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーションや愛着形成を図るため、1歳6ヶ月児健診時及び3歳児健診時に絵本の読み聞かせと絵本をプレゼント					
	フッ素塗布事業	1歳6か月から就学前の子を対象に年3回分の無料券を配布					
	フッ素洗口事業	町内の保育園に通う4歳以上の園児及び小・中学生の希望者を対象に週1回のフッ素洗口を実施					
	言葉の教室	言語聴覚士が就学前の子を対象に、ことばや発音などについて個別に対応。（要予約）					
川南町	発達相談	臨床心理士が子どもの発達についての不安や悩み方などの相談に対応（要予約）					
	5歳児健診	就学前（年中児）が対象。教育課と連携し、就学支援につなげる。					
	保育料軽減	保育料を国の基準額の5割程度に軽減。多子軽減の年齢制限を18歳まで引上げ					
	保育園等副食費の助成	保育園等に送る3歳以上児の副食費を助成					
	小中学校給食費無償化	町内小中学校の給食費を無償化					
	小中学校入学支援金	小学校入学時に5万円、中学校入学時に10万円の支援金を支給（R6年度から）					
	川南駅への無料シャトルバス	町外へ通学する生徒が利用するJの月曜時刻に合わせて、川南駅とトトロロードームを結ぶシャトルバスの運行。高校生以下無料					
	かわみなみ公営塾	中学3年生を対象に受験対策の公営塾を開催					
	かわみなみ開拓塾	本町に縁のある大学生による夏期講習を実施して本町の中学生の学力定着向上を図る。					
	高等学校就学支援	高等学校等に通う生徒をもつ町内に居住の保護者を対象に支援金月額5,000円を支給（最大36万円）					
川南町	奨学資金（育英会）	育英会による奨学金制度で、高校や短大、大学等に進学する方に貸付又は給付。高校生月額20,000円、大学及び大学進学30,000円を貸付。海外研修資金は1人400,000円以内で貸付。無利子。給付月額は20,000円。					
	子ども留学等支援補助金	保護者が本町の住民である小・中・高校生又は、本町の小中学校に通っている子どもを対象に補助対象費の3分の2、上限50万円を補助する。					

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
都農町	妊産婦健診助成	受診券を交付（妊婦健診14回分、産婦健診2回分）					
	不妊治療費助成	①一般不妊治療費等：年間10万円まで最長2年間 ②生殖補助医療費：宮崎県の生殖補助医療に対する助成に最大10万円を上乗せ ③不妊検査費・検査費用の全額（上限3万円）					
	不妊治療費助成	不妊症の治療を行っている夫婦に対し、治療費の一部助成 【一般不妊治療】 人工授精や各種療法などにかかる費用を助成 15万円まで/年 【生殖補助医療】 体外受精や顕微授精などの高度な治療にかかる費用を助成 20万円まで/回 【先進医療】 医療保険適用外の先進的な医療技術として認められたもの 20万円まで/年 【保険適用外】 妻の年齢を44歳未満まで、治療回数を2回分追加 助成額は保険適用と同額（1回の治療につき20万円まで）					
	TSUNOHANA（つのはな）便（子育て親子見守り事業）	1歳未満の乳児がいる家庭に月1回訪問し、気軽に子育て悩みや困り感を相談できる場作りを行う。面談時にはオムツ1枚を提供する。					
	保育料無料化事業	町内に住所を有し、かつ、町内に居住する未就学児を養育する保護者が仕事と子育ての両立が出来るように保育園、認定こども園など保育施設に通う未就学児の保育料を完全無料化					
	子育て応援手当	町内に居住し、保育園等に預けることと自費で乳幼児（0歳～3歳に達する日以降の最初の3月31日までのもの）を養育している保護者に対し、子育ての負担軽減と乳幼児の健全な育成のために子育て応援手当を支給 ・対象となる乳幼児1人につき 月額1万円					
	すこやか入学応援金	町内に住所を有し、新たに小学校に入学する児童を養育する方に児童1人あたり5万円を支給					
	学校給食費の無償化	町内の小中学生の給食費全額免除					
	フッ素塗布事業	町内小中学校の全児童生徒を対象に、1回の塗布につき800円の利用等を配布（8月末まで）					
門川町	ヘルメット購入補助	児童生徒の自転車用ヘルメット（SGマーク等付）を購入した保護者に対し、購入費用の2分の1（上限2000円）を支給（中学校までの延長）					
	遠距離通学費補助	通学距離が概ね片道4kmを超える通学者等に対し、地域福祉バスを無料で利用できる定期券を交付					
	保育料軽減	保育料を国の基準額より低くし、子育て世帯の負担軽減を図る。					
	ブックスタート事業	7～8か月児健康診査の時に、絵本等の入ったブックスタート・バックを保護者に手渡し、赤ちゃんと保護者に心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動を実施。					
	奨学金貸付	向学心を持ちながら経済的理由により就学困難な者に対し学費の一部を貸与する。 高校：月額10,000円、専門学校・大学：月額20,000円					
	チャイルドシートの貸出	子育て支援センターで、チャイルドシートの貸出を実施（数に限り有り）					
	2歳児歯科健診	歯科診察・フッ素塗布に加え子どもの発育・発達確認を行う。必要に応じて個別相談（心理士又は言語聴覚士）を実施。					
	ことばの教室	言語聴覚士が就学前の子どもの対象にことばや発音などについて個別に対応（要予約）					
	離乳食教室	離乳食が始まる頃の児がいる保護者を対象にした教室（年6回）					
諸塚村	乳幼児任意予防接種事業	重症化の予防、感染症のまん延防止のため個別医療機関において実施する任意の予防接種について一部助成					
	フッ化物洗口事業	町内の保育所・こども園等に通う4歳以上の希望者に対しフッ化物洗口を実施					
	部活動・スポーツ少年団活動の補助	部活動・スポーツ少年団活動の町内公共施設使用料の減免（練習のみ）					
	入学祝支給事業	小学校への新入学児童の保護者に対し、児童1人あたり20,000円のお祝い金を支給					
	誕生祝い金支給事業	定住者に対し、第1子、第2子及び第3子30万円、第4子以降は10万円ずつ加算で、出生直時に支給。非定住者に対しては、一律5万円を支給					
	3歳未満児保育事業	6ヶ月～3歳未満の幼児を対象に、保育料無償で日中保育を実施					
	中学校卒業祝い金支給事業	中学校卒業時に就学支援を目的に、生徒1人1年10万円を支給					
	村奨学金貸与事業	高校、大学に進学する生徒に対し、無利子で奨学金を貸与。学業終了後、Uターンで村内に就職した場合、要件を満たせば償還免除。月額、高校・専門学校等3万円、大学4年生課程4万円、6年生課程4又は6万円、医学科8又は10万円の貸与					
	通学・通園補助事業	諸塚村立の保育所・幼稚園・小学校・中学校に通う児童生徒に対し、通学方法に応じ、一定の交通費を支給					
	給食費支援事業	保育所や幼稚園に通う児童・小学生・中学生の給食費全額を支給					
	高校生支援事業	高校生のいる家庭に月2万円支給					
	不妊治療費助成事業	【一般不妊治療】不妊検査については全額、医療保険適用の不妊治療については自己負担額の9割を助成する。 【特定不妊治療】自己負担額から宮崎県不妊治療費支援事業助成金を差し引いた額の9割を助成する。					
	不妊治療交通費助成事業	・1回の通院につき：片道100km未満2,000円で50km増すごとに2,000円の追加（上限2万円） ・公共交通機関及び高速道路を使用した場合の支払額を追加					
	妊産婦健診交通費助成事業	妊産婦健診を産婦人科医療機関で受診した場合の交通費を助成する 補助額は不妊治療交通費助成事業と同額					
	妊産婦訪問事業	全ての妊産婦を対象に助産師助産師と村保健師が妊産婦宅を訪問し、妊産婦を継続的に支援する。					
	出産費用補助	産婦人科等での出産に係る費用の自己負担分の全額補助					
	遠方分娩施設への交通費・宿泊費支援事業	・交通費 8割助成 ・宿泊費 宿泊費から2,000円を控除した額（上限1泊7,000円）					
	男性の育児休暇取得奨励補助	・男性の育児休暇者本人：取得日数7日以上10日未満30,000円、取得日数10日以上50,000円 ・雇用主：許可日数7日以上10日未満30,000円、許可日数10日以上50,000円 ※但し、男性の育児休暇者本人が社会保険加入者で14日以上育児休暇を取得した場合、社会保険の「出生後休業支援給付金」の支給対象となるため、本事業は対象外となります。					
	任意予防接種助成事業	・流行性耳下腺炎の予防接種 4,500円分を助成 ・造血幹細胞移植に伴う感染症の予防接種の場合は全額助成					
	小児慢性特定疾病等の通院助成事業	既定の交通費を助成（高速利用料金、公共交通機関の運賃も含む）					

令和7年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目 発達支援事業	支援の内容	出生前	小学校就学前												小学校就学後		
																～小学校卒業		
椎葉村	高校生生活支援	高校生生活にかかる費用支援（1人あたり月2万円の交付）																
	奨学金貸付	高校：月額2万円又は3万円、専門学校：月額2万円又は4万円、大学：月額2万5千円又は4万5千円・条件により返還の免除あり																
	誕生祝い金	出生に対し、20万円を支給																
	チャイルドシート購入助成	購入価格の1/2。ただし、上限を対象乳幼児1人に対し、1万5千円																
	子育て支援金	小学校就学時、小学校卒業時、中学校卒業時に児童ひとりあたり10万円を支給。																
	村産材利活用事業 （木製玩具贈呈）	村産材で制作した木製玩具を、1歳から6歳までの年齢に合わせた時期に贈呈。																
	村産材利活用事業 （命名ボード贈呈）	出生に対し、木版にプリンターで顔写真・名前を印刷した命名ボードを贈呈																
	保育料利用者負担軽減	国の基準より低い保育料の設定																
	ことばの教室	言語聴覚士による「ことばの教室」を定期的に実施																
	フッ化物洗口	保育園（4歳以上）、小・中学校において希望する者にフッ化物洗口を行う																
	ファミリー・サポート・センター利用料助成	1人、1時間あたり660円助成。月の助成上限額1人29,700円																
	不妊検査費・交通費助成	夫婦の不妊原因を調べるための検査費の全額を3万円を上限に助成。 あわせて不妊検査を受ける医療機関までの交通費として、一律3千円を助成。																
	妊婦健診等助成事業	妊婦一般健康診査（14回）・妊婦子宮がん検診・妊婦歯科健康診査・産婦健康診査（2回）・新生児聴覚検査・1か月児健康診査の費用を助成。																
	妊産婦訪問事業	全ての妊産婦を対象に助産院助産師と村保健師が妊産婦宅を訪問し、妊産婦を継続的に支援する。																
	乳幼児健診	3～4ヶ月・6～7ヶ月・9～10ヶ月・1歳・1歳6ヶ月・2歳・2歳6ヶ月・3歳6ヶ月児を対象に実施。身体計測・健診・診察・栄養相談・言語相談・尿検査・眼科検査・歯科健診（月齢により含まれない内容もあり）																
	フッ化物塗布事業	1歳・1歳6ヶ月・2歳・2歳6ヶ月・3歳6ヶ月児健診受診児で保護者が希望する児に実施。																
美郷町	出生祝金	第1子…3万円 第2子…3万円 第3子…10万円																
	みさとのき事業	2歳児に対し、町産材を利用した木のおもちゃを贈呈。																
	ブックスタート事業	乳児健診1回目（2～4ヶ月児）の子に対し、絵本を1人3冊選んでもらい進呈。																
	町立保育所給食費無償化	町内保育所の給食費全額免除																
	保育料利用者負担軽減	国の基準より低い保育料の設定																
	美郷町学校給食費	美郷町内の幼稚園・小学校・中学校に在学する園児・児童・生徒の学校給食費の保護者負担額【0円】																
	遠距離通園・通学補助	幼稚園・小学校・中学校に遠距離通学（学校から4km・6km以上）を必要とする児童生徒の通学費を補助（スクールバス運行エリア・中学生の自転車通学学生を除く）																
	育英奨学金	高校、大学進学時に町が貸付（高校2万円、大学5万円、最大6万円） （リターン免除あり）																
高千穂町	美郷町高校生就学支援事業	高等学校に在学する生徒、学生を持つ保護者に対し、生徒・学生1人あたり 月額10,000円（ただし4月、8月を除く年間10ヶ月）を補助																
	子育て支援金	町内に1年以上住所を有する子育て世帯に手当を支給 第1子・・・出生、小学校入学、中学校入学時に50,000円 第2子・・・出生、小学校入学、中学校入学時に50,000円 第3子・・・出生、小学校入学、中学校入学時に100,000円 第4子以降は、第3子の額に50,000円ずつ加算 （例：第4子・・・150,000円、第5子・・・200,000円）																
	ブックスタート事業	出生時と1歳6ヶ月検診時に、絵本を1冊ずつ選んでもらい贈呈																
	ウッドスタート事業	出生時に県産材を利用した木のおもちゃの贈呈（R6.4.2～積み木セット）																
	修学旅行補助	町内中学校に通学する第2学年生徒に対し、一人20,000円を補助																
	英語検定補助	中学生を対象に1回分の検定金額を全額補助																
	漢字検定補助	小学5、6年生を対象に上限2,000円を補助																
	西臼杵子ども・障がい者ネットワーク	西臼杵3町の子ども・子育て・障がい福祉分野の総合的な相談・連携拠点 子育てや教育、福祉等について専門的な知識を持った職員（ソーシャルワーカー、保健師、臨床心理士）が関係機関とも連携しながらチームで対応																
	子育て用品の貸出	子育て支援センターで、チャイルドシートやベビーベッドなど子育て用品の貸出を実施（数に限りあり）																
	保育料補助事業	保育料を国の基準額より低くし、子育て世帯の負担軽減を図る																
日之影町	妊活応援助成金給付事業	夫婦のいづれか一方又は双方が、住民基本台帳に1年以上登録されており居住実態があり、かつ1年以上本町に定住する見込みのある、不妊治療を受けている夫婦に対して、その不妊治療に要する費用から他の法令に基づく給付及び付加給付等を除いた自己負担分の合計額を補助																
	ひのかげベビー応援金	妊婦届出、母子健康手帳を受け取る際に、産婦人科への通院費用や出産までの治療費として3万円を支給																
	不妊検査・治療助成	【不妊検査】夫婦一組に対し、1回限り年間3万円を上限に助成 【不妊治療】一般不妊治療に対し医療保険適用に限り年間10万円を上限に助成																
	出産祝金事業	定住見込みあり第1子・2子…5万円、第3子…10万円、第4子以降20万円 定住見込みなし一律1万円																
	保育料無償化	すべての児童の保育料を全額補助																
	副食費無償化	すべての児童の副食費を全額補助																
日之影町	子ども広場	保育所入所前の親子が一緒に遊んだり、父母どうしの交流や支援員による子育て相談、情報交換の場を提供																

令和7年度 宮崎県内各市町村における独自の子育て支援策一覧

赤：金銭的支援、青：その他の支援

市町村	支援の項目	支援の内容	出生前	小学校就学前	小学校就学後		
					～小学校卒業	～中学校卒業	～高校卒業
	給食費無償化	保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費を全額補助					
	中学校入学支援事業	中学校に入学した生徒を養育している保護者に3万円の支援金を支給					
	中学校卒業支援事業	卒業生一人あたり3万円の税金を支給					
	奨学金貸付	高校、大学進学時に無利子貸与（月額 高校1.5万円、大学3万円） 無利子入学金一時金（高校30万円、大学60万円） 一定条件を満たせばリターンによる返済免除制度あり					
	ブックスタート事業	絵本を送し、赤ちゃんといれ合う楽しいひとときを過ごせるよう、出生した新生児を対象に絵本を1人3冊進んでもらい贈呈。					
五ヶ瀬町	出産祝い金	要件を満たす場合に出産祝い金を交付 第1子が5万円、第2子が10万円、第3子が15万円、第4子以降が20万円					
	保育料利用者負担軽減	国の基準より低い保育料の設定					
	ブックスタート事業	乳幼児健診4ヶ月を迎える子に2冊絵本を贈呈					
	ウッドスタート事業	乳幼児健診7ヶ月を迎える子に木のおもちゃを1つ贈呈					
	フッ素塗布事業	2歳から5歳を対象に、半年に1回町内歯科診療所で行うフッ素塗布の費用を助成する。小・中学校においては、希望する者にフッ化物洗口を実施（無償）。					
	不妊検査・治療費助成	不妊検査：夫婦一組に対し、1回限り年間3万円を上限に助成 不妊治療：特定不妊治療・一般不妊治療に対し医療保険適用に限り年間10万円を上限に助成					
	五ヶ瀬町佐伯勝元教育基金事業 奨学金制度	大学・大学院に進学（短大・専門学校は除く）し、保護者が五ヶ瀬町在住である方を対象に、無利子で奨学金を貸与する。月額5万円の貸与。大学・大学院卒業後、10年以内に償還となるが、町内に帰ってこればその期間の返済が免除になる。					
	五ヶ瀬町佐伯勝元教育基金事業 高等学校入学支度金制度	高等学校に進学する生徒のうち、保護者の現住所が五ヶ瀬町にあり、かつ保護者の経済的理由によって就学が困難と認められる生徒に対し、入学支度金1人5万円を補助。					
	塾との連携事業	県塾（延岡市）で、年3回授業に参加し3年生の受験を支援する。受講料無料。					
	国際化教育推進事業	中学生1人あたり、年1回の英語検定試験受験料の全額を補助。					
	地域ならではの事業	町内の学校に在学する児童・生徒に、五ヶ瀬ハイランドスキー場のピッキー券を配布。（※ピッキー券：シーズン中、全リフトが無料）					
	学校給食費補助事業	町内の学校に在学する児童・生徒分の飲用牛乳・米飯代を全額補助。					

※全国、宮崎県で一律に実施されている事業は除く
※地域子ども・子育て支援事業、子育て支援乳幼児医療費助成事業は別表にて掲載